

## TOEIC

# 迫り来る英語公用語化の波 高スコア獲得が必須に

ファーストリテイリング、楽天が英語の社内公用語化を実施する。事業展開のグローバル化を受けて、他の企業でも英語スキルの重要性は高まる一方。その分かりやすい指標として、TOEICスコアへの関心がかつてなく高まっている。

## TOEICを昇格の条件にする企業が増えている

## 860点以上

Non-nativeとして十分なコミュニケーションができる

900点	富士通 (海外大学院などに社費留学するための必要条件)
800	日立製作所 (経営幹部候補としての目標) 野村ホールディングス (新卒のグローバル型社員に求められる目安)
750	楽天 (上級管理職への昇格条件) 富士通 (主な国内ビジネススクール・大学院に社費通学するための必要条件)

## 730点以上

どんな状況でも適切にコミュニケーションできる素地がある

730	日本IBM (次長の昇格条件) 三井物産 (担当職2級の昇格条件) 帝人 (経営幹部候補の目標) 三菱商事 (新入社員の目標、課長クラス昇格への必要条件)
-----	--

700	楽天 (中級管理職への昇格条件) ファーストリテイリング (全社員の目標)
-----	--

650	日立製作所 (課長任用時の目標) 楽天 (初級管理職への昇格条件)
-----	--------------------------------------

600	日立製作所 (総合職任用時の目標) トヨタ自動車 (係長担当の昇格条件) キャノン (英語でオペレーションする国に赴任する際の条件) 富士通 (全社員の目標) 楽天 (アシスタントマネージャーへの昇格条件)
-----	---

## 470点以上

日常生活のニーズを充足し、限定された範囲内では業務上のコミュニケーションができる

550	帝人 (将来の幹部候補育成プログラム選抜者への条件)
500	帝人 (課長級昇格の条件) ※ アンリツ (課長職の基準) 日立製作所 (採用時の目標)

## 220点以上

通常会話で最低限のコミュニケーションができる

※業務と英語の必要性・関連性の強い部署では、600点が条件

「ユニクロ」を展開するファーストリテイリングや楽天が2012年までに英語を社内公用語にするというニュースは記憶に新しい。ファーストリテイリングは全社員に「TOEIC」700点以上取得を課した。同社に限らず、TOEICのスコアを昇格条件にする企業は増えている。

さらに、転職市場でも、TOEICの高スコアが有利に働くのが現実。この状況からすると、どんな人でもTOEICの高得点を取ることが必須になる時代がすぐそこまで迫っている。

## スコア800点を取れば 明確に有利に！

転職情報会社に勤める最上裕司さんに転職市場の求人案件とTOEICスコアの関係性を聞いた。

## 700点以上

グローバルに展開している日本企業で、海外事業に携わる職に求められる。業務報告をする上司は日本人である場合が多いが、仕事のメールや文書は英語で書くことを要求される。

## 800点以上

外資系企業、それなりに重要な職に求められる。業務報告をする上司は多くの場合、外国人。英語の電話会議が日常的に行われる。特に年収が1000万円以上を超える案件では、この点数を求められるケースが多い。求人票には「600点取得者」と書いてあっても、実務経験のレベルが同等の候補者が複数いた場合、800点以上のスコアを持っている人の方が有利。また、800点と900点の評価の差は、さほど大きくない。



アクシスコンサルティング  
シニアコンサルタント

最上裕司氏 Yuji Mogami

IT・コンサル業界におけるキャリア形成支援を得意とする。転職を前提としないキャリアコンサルティングに定評がある。

※注意事項：傾向を言えば上記ようになる。しかし、企業が最も重視するのは、本人の実務経験であることは言うまでもない。「TOEICのスコアがいいからといって転職が簡単になるという誤解はしないように」(最上さん)